

目次	・病院長就任のご挨拶	・・・1	・ノロウイルス感染症について	・・・5
	・在宅介護支援事業所について	・・・2	・秋の健康レシピ	・・・6
次	・お知らせ	・・・3	・新入職員紹介	・・・7
	・透析室の水質管理	・・・4	・外来診療表	・・・8

病院長就任のご挨拶

病院長 豊永 哲至



この度2016年10月1日付けで第8代の病院長に就任いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。私は1988年に熊本大学医学部を卒業し、糖尿病や脂質異常症などの代謝疾患やバセドウ病などの内分泌疾患を専門に診る代謝内科に入局しました。以後、熊本大学には2007年まで在籍し、その後国立病院機構熊本医療センターに異動、2015年10月に同病院から当院に副院長として異動して参りました。前任の矢野智彦先生は院長として22年余りの長期に亘り当院の発展のために尽力されて来られ、正に当院の顔でありました。このため今回、矢野先生の定年により院長職の交代となりましたが、職務の大きさに身の締まる思いです。

当院は昭和40年に創立された、九州で2番目に伝統のある医師会立病院です。創立時の当院は、ベッド数57床、常勤医3人の内科系病院でした。その後、医師会の先生方の努力と熊本大学医局や熊本市内の急性期病院からの医師派遣を得て、次第に発展してきました。昭和43年にリハビリ部門を併設され、昭和47年に67床、昭和57年110床、平成元年125床、平成12年138床と病床数も増加しています。平成24年に菊池市亘にあった旧病院から現在の新病院に新築・移転して124床の病院となりました。この間、昭和52年には日本医師会から地域住民の健康管理と福祉増進の貢献にたいして最高優功賞を授与されています。

現在では、常勤医13名、総職員250名の病院となり、総合内科・糖尿病内科・腎臓内科・循環器内科・消化器内科・放射線科・リハビリテーション科などの13科による専門性の高い診療と健診部門による予防医療の提供を行う地域の中核病院となっています。

国は、これまで経験したことのない超高齢者社会の到来を見据えて、戦後のベビーブーム世代が全て後期高齢者になる2025年を目標に、医療と介護の連携、地域医療構想の推進などを柱とする医療・介護の提供体制の改革を進めています。当院でもこれらの国の施策に対応して、11月1日から介護療養病床を減らし一般病床と地域包括病床を増やすことで入院病床の機能変更を行う予定になっています。また、地域で患者をサポートする体制の更なる発展が求められ、かかりつけ医の促進と医療機能の分化・連携強化がこれまで以上に重要となってきています。このことについても積極的に進めて行く予定です。

当院はこれまで50年余に亘り、地域の方々の応援と医師会会員さらには熊本大学や急性期病院のご支援により地域医療に貢献することが出来ました。当院の理念は、「かかりつけ医の先生方と連携し、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します」というものです。これからも、地域の基幹病院として、医療や介護施設との連携を通して全人的な医療を提供することで、理念を追求してまいります。



菊池郡市医師会

居 宅 介 護 支 援 事 業 所



★居宅介護支援とは

介護が必要になった方に、可能な限り自宅で自立した生活が送れるよう支援する事です。

★介護支援専門員（ケアマネジャー）の仕事とは

ご本人やご家族の相談に応じ、ご希望や心身の状態を考慮して、適切なサービスが受けられるようにケアプラン（介護サービス計画）を立て、関係機関と連絡調整を行います。サービス提供後も自宅へ訪問し、ご本人の状況を確認していきます。

★こんな時はご相談ください！



菊池郡市医師会では、他にも自宅で療養されている方々と介護されているご家族の皆さまが、安心して充実した毎日が送れるよう様々な支援を行っております。お気軽にご相談下さい。



デイサービス

通所サービスにて、リハビリや入浴など日常生活の支援を行います。



訪問看護ステーション

医師の指示のもと、看護師がご自宅に訪問し、ご自宅での療養生活を支援します。

★サービスに関するご相談

〒861-1308 菊池市亘372-7

菊池郡市医師会 居宅介護支援事業所 **TEL 0968-24-1973**

News

2016/7/12~14、8/8、8/10

高校生インターンシップ を実施しました



当院では、7・8月に熊本県立菊池高等学校と熊本県立鹿本高等学校のインターンシップ実習生を受入れました。実際に院内を見学したり、スタッフの指導のもと病棟での看護業務、外来受付や診療情報管理士などの業務を体験してもらいました。一人でも多くの学生さんが、この経験を通して医療現場で働きたいと思っただけであれば幸いです。



News

2016/9/13

Dr.テレビたんの撮影 がありました

9月24日(土)に放送された、KKTの医療番組「Dr. テレビたん」の撮影がありました。当院のがんのリハビリテーションチーム、透析治療、健診などの取り組みが紹介されました。放送内容はDr.テレビたんのホームページからご覧いただけます。

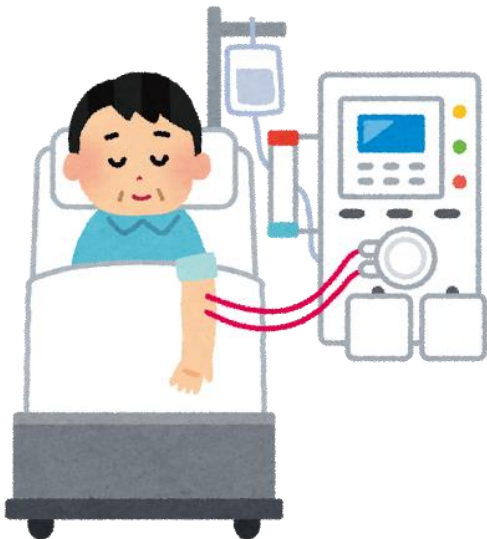


透析室の 水質管理について



透析について

透析では腎不全で体に溜まった老廃物を除去し、余分な水分を取り除き、血液を正常化します。当院の透析室では現在約120名の患者さんが透析を受けられています。患者さんの血液と透析液はダイアライザー（ろ過器）の中にある半透膜を介して、水や物質の交換が行われています。汚染された透析液をそのまま使用すると血液に不純物が入ることになるため、透析液は清浄化されてなければなりません。1回の透析は1人当たり4～5時間で、使用する透析液の量は120～150Lとなり、透析室での水の使用は1日に30トン（30,000L）の水道水を使っていることとなります。



透析液の水質管理（清浄化）

透析液は臨床工学技士が水質管理を行い、定期的な水質検査をし、データが一定の基準以下である事を確認しています。この透析液の清浄化は日本透析医学会が規定した厳しい基準に従って管理し、安全な透析液を供給することによって、安全な透析に繋がっていると思います。

熊本地震を振り返って

熊本地震直後の透析室では、透析の機械が移動していたり、物が散乱していました。市水の汚濁によって透析液を作製する水として使用できなくなったため、一時的に自衛隊から水の供給を受けました。これにより時間を短縮しましたが、中断することなく透析を行うことが出来ました。また多くの方々の支援を実感する機会となりました。菊池市でも被害が大きく、家屋の倒壊等があったようですが、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



ノロウイルス感染症とその対応・予防

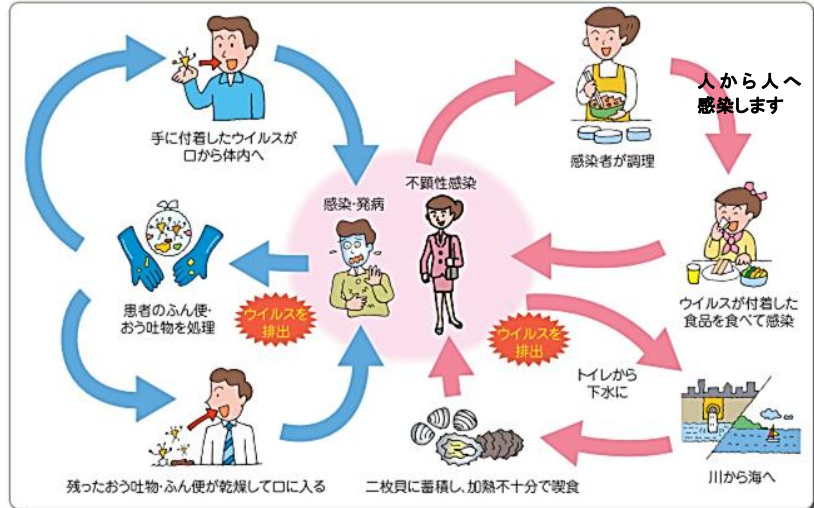
毎年11月頃から翌年の2月にかけて、ノロウイルスの感染を原因とするウイルス性の嘔吐・下痢症が流行します。

ノロウイルスの症状

ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で、症状の持続する期間も数時間～数日（平均1～2日）で主にみられる症状は3つあります。

- ① 吐き気や嘔吐。激しい吐き気とともに、嘔吐を伴います。
- ② 腹痛や下痢。激しいお腹の痛みとともに、水状の便が止まらなくなります。
- ③ 軽い発熱や頭痛です。発熱しないことも多く、あまり高い熱とならないことが多いです。

■感染経路



治療法

完治させるための特効薬はありません。症状を軽減させることが一番の対症療法となります。症状の持続する期間は短いので、その間に脱水にならないように、できる限り水分の補給をすることが一番大切です。（場合によっては病院で点滴をしてもらうことも必要です。）吐き気止めや整腸剤などの薬を使用する対症療法が一般的です。

予防方法

もっとも重要で効果的な予防方法は『流水・石鹼（液体石けん）による手洗い』になります。貝類の生食はできる限り控えましょう。

<家庭における注意点>

- ①最も重要な予防方法は手洗いです。帰宅時、食事前には家族の方々全員が流水・石けん（液体石けん）による手洗いを行うようにしましょう。アルコール消毒は効果が期待出来ません。
- ②貝類の内臓を含んだ生食は時にノロウイルス感染の原因になることを覚えておいてください。高齢者や乳幼児は避けるほうが無難です。
- ③調理や配膳は、十分に流水・石けん（液体石けん）で手を洗ってから行いましょう。
- ④衣類や物品、嘔吐物を洗い流した場所の消毒は次亜塩素系消毒剤（濃度は200ppm以上、家庭用漂白剤の場合は約200倍程度に薄めてく例：ハイター100ml＋水5000ml）が効果的です。

※嘔吐物の処理はマスクと手袋を着用した上で行ってください。メガネもしくはゴーグル等で目の粘膜を防御することをお勧めします。

※次亜塩素系消毒剤を使って、手指等の体の消毒をすることは絶対に行わないでください。



健康と美容の味方！ 鮭を食べよう！



鮭の特徴であるピンク色は、抗酸化作用の非常に強い赤色色素**アスタキサンチン**によるものです。抗酸化作用がある物質は、体の老化を防いでくれたり、肌をきれいにしてくれたりとアンチエイジング効果を発揮してくれます。

また、ダイエットをサポートする働きもあると言われています。脂肪を分解する時に働くタンパク質を活性化させ、脂肪燃焼を促進してくれます。メタボリックシンドロームの予防や改善にも有効であると注目されています。



寒い時期にぴったり 鮭のかす汁

材料・調味料(4人分)

鮭	1~2切れ 食べやすい大きさに切る
大根	1/4本 ちょう切り
人参	1/3本 ちょう切り
こんにゃく	1/4枚
酒粕	60g
だし	3カップ
味噌	大さじ1~2
淡口醤油	大さじ1
酒	大さじ2



作り方

- ①鮭は、湯通しするか霧降りをし、血合いを取り除いておく。
- ②鍋にだしを入れ、鮭・大根・人参・こんにゃくを入れて沸くまで強火で一度沸いたら中火で食材に火を入れる。
- ③一度火を止め、やわらかくなっている酒粕を溶き入れ味噌・淡口醤油を加えて味をつけ、再び煮立てる。
- ④味が薄いときは顆粒だしを適量加えるか少し煮詰めるだけで味が良くなります。お椀に盛り、ネギ、生姜、一味唐辛子、黒こしょうなどお好みで加えて完成です。

※酒粕の濃度は好みがあるので味見をしながらお好みの量を使って下さい。

酒粕は別の容器で溶かしてから入れる。小さくちぎって熱いだしにつけておくと溶けやすいです。

新

入

職

員

紹

介



社会福祉士
鬼丸 千宙

趣味・特技
音楽鑑賞・ビーチバレー

何事にも精一杯に取り組み、
利用される方が心地よい環
境作りが出来るよう頑張
ります。



5F 看護師
松田 愛

趣味・特技
映画鑑賞

いつも笑顔で頑張ります。



外来 看護師
井尾 美樹

趣味・特技
DVD鑑賞

笑顔で頑張ります。



外来 看護師
北原 美紀

趣味・特技
ビーチバレー

いつも笑顔、いつも元気を
モットーに精一杯頑張ります。



臨床工学科
森永 景子

趣味・特技
音楽鑑賞・物作り・釣り・旅行
ダイビング

旅と海が大好きです。
子供の頃は山鹿で育ち、家族で
出かけると言えば菊池水源でした。

編集後記

ずいぶん日が短くなり、色づく木の葉に秋の気配が深まってきました。早いもので、今年もあと2ヶ月です。4月の地震、夏の台風、そして10月の阿蘇の噴火と自然災害に悩まされた1年でしたね。この先、インフルエンザなどの感染症も流行する季節ですので、皆様体調にはお気を付けください。

菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	松田 浩治 石田 隼一	沖 尚史	松田 浩治		古賀 荒太郎	松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	豊永 哲至 田口 哲也	田口 哲也	豊永 哲至 信岡 謙太郎 (菊池中央病院)	矢野 智彦	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大 循環器科	古賀 敏
	新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大 循環器科	石坂 浩	
腎臓内科	午前				井上 秀樹 (熊大 腎臓内科)	緒方 智博	
消化器内科	午前			検査のみ (熊大 消化器科・他)	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ	検査のみ (石田 隼一)	検査のみ	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸 上谷 浩之 (熊大 放射線科)	本田 伸	永山 泰教 (熊大 放射線科)

当院は「紹介型の病院」です。受診に際しましては、「かかりつけ医」の「紹介状」を原則必要とします。
ただし、救急の場合はその限りではありません。検査は予約制となります。

外来受付時間 8:30 ~ 11:30 外来診療時間 9:00 ~ 12:00
救急患者の方につきましては、上記以外の時間にも対応しています。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・ チーム医療と地域連携に努めます
- ・ より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・ 自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・ 病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 豊永 哲至

